



※中間休みと昼休みに行います。

図書室の机に、「友達」や「魔法」などのテーマが書かれた福袋を並べます。福袋には、本が2冊ずつ入っていますが、どんな本が入っているかは、お楽しみ！今まで自分では選ばなかった本との新しい出会いがあるかもしれません。

そして、福袋の中に本についてのアンケートが入っています。アンケートに答えてくれた人は、おみくじを引くことができますよ。図書室で運試ししてみませんか？

ぜひ、図書室まで福袋を見にきてくださいね。

【お約束】

- ・読書かばんと、借りていた本と、貸出カードを忘れずに持ってきてください。
- ・図書室までは歩いて来てください。
- ・福袋は1人1つずつ選びましょう。福袋は、1・2年生用、3・4年生用、5・6年生用を用意しているので、自分の学年のところから選んでください。
- ・どの福袋にするか決まったら、カウンターで貸出をしてください。
- ・福袋を開けるのは教室にもどってからです。図書室では開けないでください。
- ・福袋の本は読み終わったら、図書室に返しに来てください。
(新聞紙の袋は返さなくても良いです)
- ・福袋の中に、アンケートが入っています。書いてくれた人は図書室に持ってきてください。持ってきてくれた人は、おみくじを引くことができます。

※1月9日の分の福袋が無くなったら、次の日以降にも、新しい福袋を出しますよ。



八幡市立八幡小学校 図書室

本のおたより

(4年生～6年生用)



令和6年12月9日 冬号

冬休みに読んでみて！

今回の本のおたよりでは、冬休みにおすすめしたい本をしょうかいしたいと思います。冬休みに新しい知識を得られる本や、寒い冬に心がほっとりと温まる物語を読んでみませんか？ご家庭でも、久しぶりにお子さんに本を読んであげたり、いっしょに読書をしたりして過ごす時間をつくってみるのはいかがでしょうか？

また、3学期初めには、本の福袋を用意しています。楽しみに待っていてくださいね。

物知り事典『大人も知らない？不思議現象事典』

「ふしぎ現象」研究会/編 ヨシタケシンスケ/イラスト マイクロマガジン社



知っている、ものの見方が変わるかもしれません

みなさんも1度は経験したことがあるような身近な不思議な現象がなぜおこるのかを解説している本です。
例えば、「見ちゃダメ！と言われると、余計に見たくなる」という現象には、カリギュラ効果という名前が付いています。人は本能的に自分のことは自分で決めたいと思っているので、他の人から「ダメ！」と言われると、余計にやりたくなってしまうのだそうです。

他にも、「同じアニメが好きな人とはすぐに仲良くなれる」、「期間限定と書いてあるおかしをつい買ってしまう」など、不思議な現象のなぞが解けてしまいますよ。

物語『シャーロットのおくりもの』

E.B.ホワイト/作 ガース・ウィリアムズ/絵 さくまゆみこ/訳 あすなろ書房



小さなクモが起こしたきせきとは…！？

農場で暮らしている少女ファーンは、小さな体で生まれたブタの赤ちゃんにウイルバーと名付け、飼うことにしました。ファーンに大切に育てられ、大きくなったウイルバーは、近くの農場に売られ、いびきでさみしい思いをしていました。

その時、「お友だちになってあげるね。」と、上から声が聞こえたのです。見上げてみると、それは小さなクモのシャーロットでした。ウイルバーと、シャーロットは、おたがいのことを話しながら、しだいに仲良くなっています。

そんなある日、ウイルバーは、自分がクリスマスにハムとして食べられる運命にあるのだと知り、「死にたくないよう。」と、泣きわめきます。すると、シャーロットが、「命は助けてあげるから。」と、ある行動をします。その行動がきせきを起こすのです…。

物語『願いがかなうふしぎな日記 光平の新たな挑戦』

ほんだありあけ ちょ
本田有明/著 PHP研究所

挑戦する勇気がもらえます

夏休みに、おばあちゃんからもらった日記に目標を書いて、次々と実現させてきた光平。プールで50m泳ぐことができるようになったり、『星の王子さま』を読んで書いた読書感想文は賞をとったりすることができました。

そんな光平が、冬休みに新たな挑戦を始めます。お母さんのたん生日にお母さんの代わりに家事をしたり、マラソン大会で記録更新を目指したり、宇宙飛行士になるという夢をかなえるために努力をしたりと、夏休みよりも高い目標実現に向けてがんばります。目標は達成出来ないこともあるけれど、光平が自分を信じて前向きにがんばる姿に勇気がもらえる1冊です。



物語『このすばらしきスナグの国』

E.A.ワイク＝スミス/原作 ヴェロニカ・コッサンテリ/作 野口絵美/訳 小沢さかえ/絵 徳間書店



不思議な世界での冒険に出かけよう

サーカスで育った男の子ピップと、訳あって言葉を話そうとしないフローラは、子どもの家で出会い仲良くなります。子どもの家では、スナグという人間より体が小さく、おっちょこちょいだけれど、心優しく、勇気のある種族であるゴルボが、親切にお世話をしてくれました。

ある日、3人は、規則を破っておかしを食べてしまい、ゴルボはスナグの国へ帰らされてしまいます。ピップとフローラも、お使いを命じられるのですが、2人の元にあやしい車がやってきて、フローラは連れ去られてしまいます。ピップはフローラを追いかけているうちに、森の中にあった木の割れ目に飛びこみました。すると、そこには不思議な世界が広がっていたのです。ピップとフローラは合流し、見たことがない世界への冒険に心おどらせていましたが、冒険には危険がつきもので…。

社会『京都まるごと図鑑』

しおばらなおみ かんしゅう いわさきしよてん
塩原直美/監修 岩崎書店

京都のこと、どのくらい知っていますか？

この本は、京都の歴史や文化、地理、寺社仏閣などの名所、祭り、産業などについて写真とともに解説されていて、1冊で京都のことがまるごとよく分かってしまう本です。

新年に、神社へ初もうでに出かける人も多いと思いますが、それぞれの神社ができた理由や、建築様式、見どころ、絵馬などを知ることができるので、神社ごとの違いを知って、実際に確認しに行ってみてはいかがでしょうか？

ほかにも、京都の技術で生まれた意外な精密機械や、京ことば、京町屋、伝統芸能、京野菜、おばんざい、舞妓さんなど、みなさんが住んでいる

京都にはまだまだ知らないことが多いのではないのでしょうか？この機会に、国際都市京都の魅力を知ってみるのはいかがでしょうか？

